

白と緑の鮮やかなコントラストで魅了

ミズバショウ咲き誇る

田沢湖の刺巻湿原では、ミズバショウが見頃を迎え、連日多くの観光客が訪れています。国道46号沿いから見える広さ3ヘクタールほどの湿原に約6万株が群生しており、駐車場もしっかり整備されています。訪れた多くの観光客は、木製の歩道をゆっくり散策したり、雪解け水の中の愛らしい花々をカメラに収めたりして、楽しんでいる様子でした。角館の桜、西木のカタクリと合わせ、ゴールデンウィーク頃まで花紀行は続きます。



刺巻湿原の「水ばしょう祭り」は5月6日まで開催されています。この機会にお見逃しなく！

仙北市の美しい花々や風景を題材に

フレーム切手で魅力をPR



せんぼく花紀行 2015



みちのくの小京都「角館」～その式～

4月9日、日本郵便株式会社東北支社（本間幸仁支社長）は、オリジナルフレーム切手の発売を記念し、仙北市へ切手を寄贈しました。今回寄贈されたフレーム切手は、刺巻のミズバショウ、西木町のカタクリ、松木内川堤のソメイヨシノを中心に、コマクサなどの高山植物を題材とした『せんぼく花紀行2015』（52円切手10枚930円）と、武家屋敷の町家とシダレザクラなどを題材とした『みちのくの小京都「角館」～その式～』（82円切手10枚1230円）の2種類。どちらも仙北市の魅力を存分に感じられるフレーム切手となっています。

春の火災予防運動

駆け付け訓練を実施

4月5日から11日にかけて実施された「春の火災予防運動」の初日、仙北市内3か所で火災の発生を想定した駆け付け訓練が実施されました。訓練に参加した団員たちは、きびきびとした動きで本番さながらの素早い動きを披露していました。これから気温が高くなる時期は、空気の乾燥により火災が非常に発生しやすい気象状況となります。安全第一を心がけ、火気の取り扱いには、十分に注意しましょう。



角館地区で実施された駆け付け訓練。きびきびとした団員の動きが印象的でした。

希望胸に新校舎で新たな一歩

角館高等学校入学式

4月7日、秋田県立角館高等学校（青柳徹校長）の入学式が新校舎の第1体育館で行われました。1年間かけてリニューアルした新校舎は木材をふんだんに活用した温かみのある明るい雰囲気、講堂など新しい教室も併設されました。この日入学された生徒は、全日制課程240名と定時制課程9名の合計249名。新入生を代表し樋口香純さん（生保内中出身）が、仲間たちと目標に向かって切磋琢磨することを力強く宣誓しました。



入学式で式辞を述べる青柳校長。新校舎も完成し、気持ちも新たにスタート。

◇角館高校野球部地域サポーター事務局から

私どもの活動も平成25年の設立から3年目を迎えることができました。これも野球部を応援したいという多くのサポーター、そして市民の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年は悲願の甲子園出場というこの上ない喜びにサポーターはもとより、仙北市全体が歓喜に沸いた1年でした。新チームとなった甲子園出場後は、高橋主将を中心に新たな目標に向かって練習に励んできたものと思います。

新入部員を迎え本格的な野球シーズンのスタートとなった今、我々としても、角館高校野球部の更なる活躍を願いサポートを続けて参ります。

角館高校野球部地域サポーター事務局 代表 菅原 一正
地域サポーター募集のお問い合わせ 090-2987-6138（副代表：藤原 悟）

◇角館高校野球部沖縄遠征（角館高校野球部 副部長 渋谷 知）

春休みの沖縄遠征は10年以上前から、今年も6泊7日の計画で実施し、AB両チームで20試合をこなしてきました。対戦相手は選抜出場の糸満高校、秋の県大会優勝の中部商業、ベスト4の美里工業などです。沖縄は春季大会期間中なので、相手は仕上がっており、後半になるにつれ強いチームと対戦することになりました。

会場もコザしんきんスタジアムなど公式戦やプロ野球のキャンプで使用する球場で行うことができ、これまではこのチームと対戦しても歯が立たなかったのですが、最近はやっと互角に戦えるまでになりました。色々なタイプのチームと対戦した経験を、夏の大会に活かしていければいいと思います。

地域の皆様の期待に応えられるよう頑張りたいと思います。



沖縄セルラースタジアム



コザしんきんスタジアム

角館高校野球部をサポーターが応援します！

秋田県議会議員一般選挙

佐藤雄孝氏無投票当選



4月12日に執行された秋田県議会議員一般選挙で、仙北市選挙区（定数1）は、立候補者が佐藤雄孝氏1名のため無投票で当選が決まりました。へ経歴は、大曲農業高卒。平成元年3月旧西木村議。同9年3月村収入役。同13年7月村助役。同21年10月から秋田県議会議員。

食農観連携で仙北市の新ブランドを発信

「食彩・町家館」がオープン



澄み渡る青空の下、角館の中心地にオープンした「食彩・町家館」。記念のテープカットが華々しく行われました。



オープンと同時に目当ての商品を買い求めるお客さんでにぎわいを見せていました。

あきた食彩プロデュースが開業を進めていた6次産業化拠点施設「食彩・町家館」が4月19日、旧角館プラザ跡地にオープンしました。1階は飲食と物販に加え地場産品の加工場を併設した「アグリガーデン」、2階は地元野菜を中心としたメニューにこだわったレストラン「町家キッチン」となっています。オープン初日は多くの観光客や買い物客でにぎわいを見せ、お目当ての「限定バイキングお花見弁当」などが好評でした。